

伝統工芸

江戸組子

えどくみこ

建松

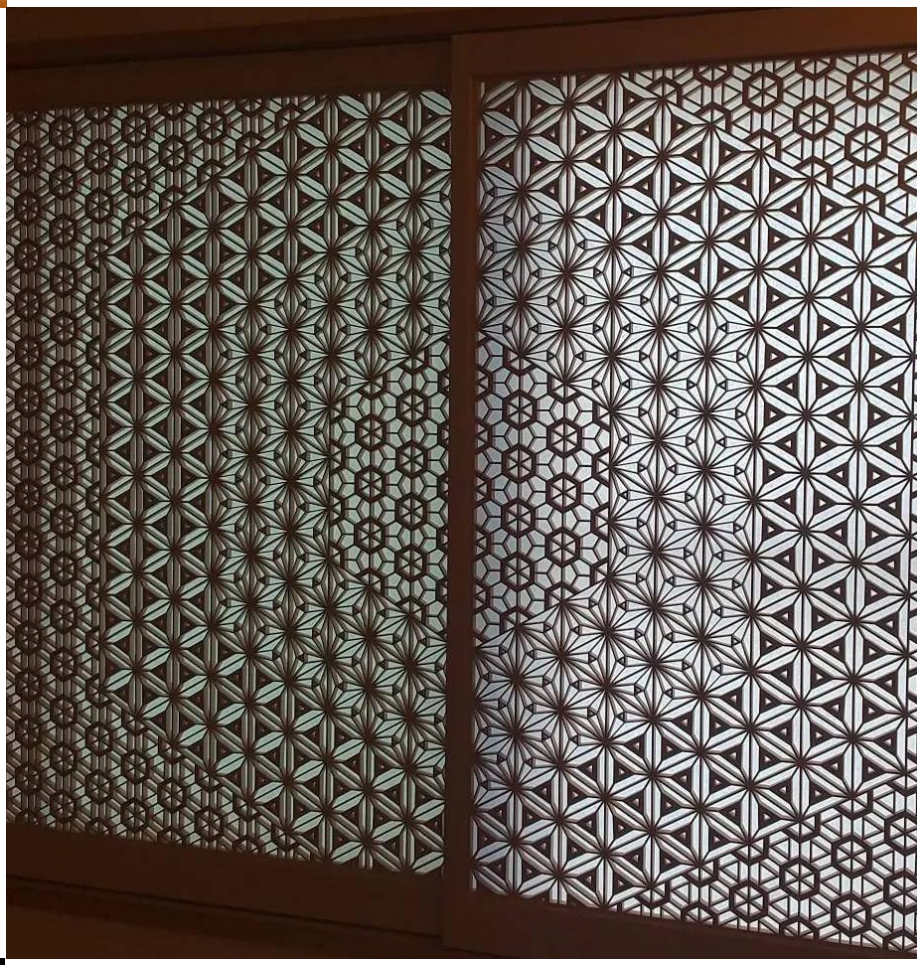
たてまつ

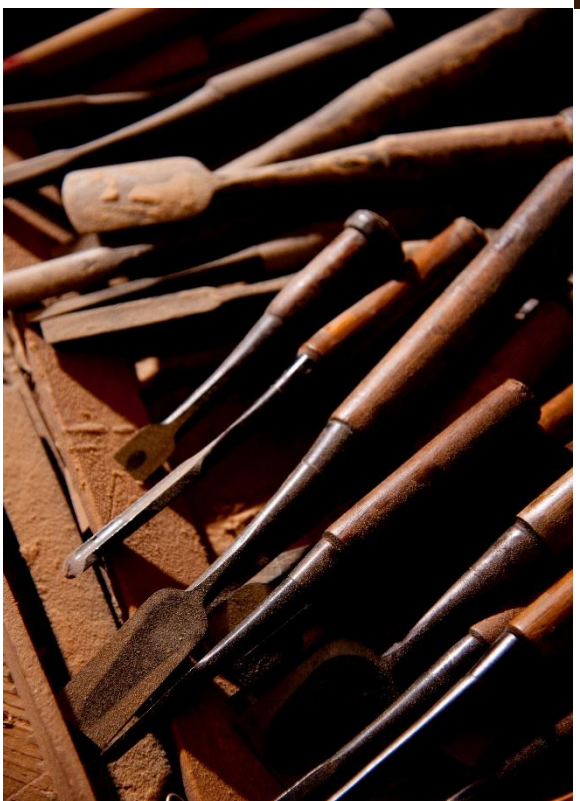




雨をしのぎながら月の明かりを取り入れる障子、寒い冬に暖をとる囲炉裏の煙を自然と外へと流す欄間、高温多湿の夏には風通しの良い簀戸…建具には、日本の自然や生活様式に合わせて、快適な暮らしを営む先人たちの知恵や工夫があります。

釘を一切使わずに、細かく削った木の部材を組み合わせ、様々な模様を作り上げていく組子細工。欄間や障子などの建具の装飾に使われてきた日本の伝統的な木工技術です。細工の技術はもとより、緻密さや根気のよさが求められ、また、木の性質なども熟知していなければならず、"建具職人 最高の技"と言われています。
江戸組子 建松では、材料の選定から製作まで、職人の目と手による手しごとにこだわり、ひとつひとつ丁寧にお作りしております。
手づくりにこだわる職人の“手”から生み出される製品には、清らかな木の香りや滑らかな木肌、細かな木片による精緻な文様など、木の魅力があふれています。





細かな木片から織り成される様々な模様。僅かな狂いも許さない精巧さは圧巻です。また、木片いわば直線を組み合わせてできる幾何学的な模様は、桜や桔梗、麻ノ葉、雪、亀甲など、日本の自然をモチーフにしたものが多く、豊作や長寿、子孫繁栄など人々の願いが込められています。模様ひとつにも先人たちの知恵や工夫があり、職人たちの手によって受け継がれてきたものなのです。

親子で繋ぐ伝統の技



田中 松夫

まっすぐな木を組み合わせて菱形を作っていく菱組が得意。組手（くで）と呼ばれる凸凹の刻みを入れ、木と木をかみ合わせて作る。組手がきちっとできれば、隙間のないきれいな直線や菱形ができる。それは身体で覚えるしかない。機械化が進む中、機械にたよらず手技で仕事をする。

「仕事は一生勉強。」

今も修行中と思い、日々木と向き合う。

1943 年　新潟県生まれ。大工の家庭で育つ。
1958 年　学校卒業後上京、建具屋に弟子入り
1982 年　独立「建松」設立
1986 年　江戸川区伝統工芸会入会
1989 年　江戸川伝統工芸展にて区長賞受賞
1991 年　江戸川伝統工芸展にて教育委員会賞受賞
1996 年　江戸川伝統工芸展にて教育委員会賞受賞
2006 年　江戸川区指定無形文化財認定
2009 年　江戸川伝統工芸展にて教育委員会賞受賞
2019 年　東京都優秀技能者（東京マイスター）認定
2020 年　江戸川区文化功績賞受賞
2026 年　死去



田中 孝弘

幼い頃から父の仕事を見て育つ。

小さい頃から手先が器用で、父の隣で本棚や犬小屋を作っていた。

組子細工を施すような欄間や障子の需要が減る中、行燈や屏風、テーブルなど組子細工を活かした新しい製品づくりに挑戦。

自由な発想で、伝統的な技術を活かしながら、現代のニーズにこたえた製品を次々と生み出す。

「何をつくるか考えるのが楽しい。伝統を踏まえつつ、実用性のある新しいものをどんどん作っていきたい。」

1972 年　東京都生まれ
1994 年　東海大学工学部建築学科卒
1994 年　都市計画コンサルタント会社に就職
1998 年　一級建築士取得
1998 年　家業を継ぐため退職、父のもとで修行
1999 年　江戸川区伝統工芸会入会
2007 年　江戸川伝統工芸展にて技能賞受賞
2008 年　江戸川伝統工芸展にて教育委員会賞受賞
2015 年　江戸川伝統工芸展にて教育委員会賞受賞
2019 年　江戸川伝統工芸展にて区長賞受賞
2023 年　江戸川伝統工芸展にて技能賞受賞
2025 年　江戸川伝統工芸展にて教育委員会賞受賞
2026 年　東京都優秀技能者（東京マイスター）認定

材料を選ぶ

材料には、木曽檜や秋田杉などの国産の針葉樹を使用します。現地や市場まで、職人自ら足を運び、職人の目で選んで、より質の良い材木を仕入れます。
国産の良質な材木は、経年による変化が美しく、味わいを増していきます。長く大事に使って欲しい、そんな思いは材料選びから始まっています。





〈長野県木曽〉

道具を大事にする

鋸や鉋、鑿など昔ながらの道具を使って製作します。「職人は鉋が研げたら一人前」と言われるくらい、道具の手入れは大切です。
また、細かな木の部材を作るには、型と言われる治具が必要不可欠です。型は、自分で作業しやすいように、端材で作ります。
道具の手入れを欠かさない、自分で工夫して使いやすくする、こうしたことも職人たちによって受け継がれてきた大切な仕事の流儀です。









〈治具〉
部材の長さや角度に合わせ、
その都度、自分で型を作る。

長く使っていただくものづくり
～お客様との対話を大事に

障子や屏風、衝立など、サイズやデザイン等お客様のご希望に応じてお作りするオーダーメイドも承ります。
オーダーメイドでは、お客様とコミュニケーションを重ね、ご要望に沿ってお作りします。時間がかかることもありますが、それだけ愛着を持って使っていただけると感じます。大切に使ってもらいたいからこそ、お客さまの声を大事にします。



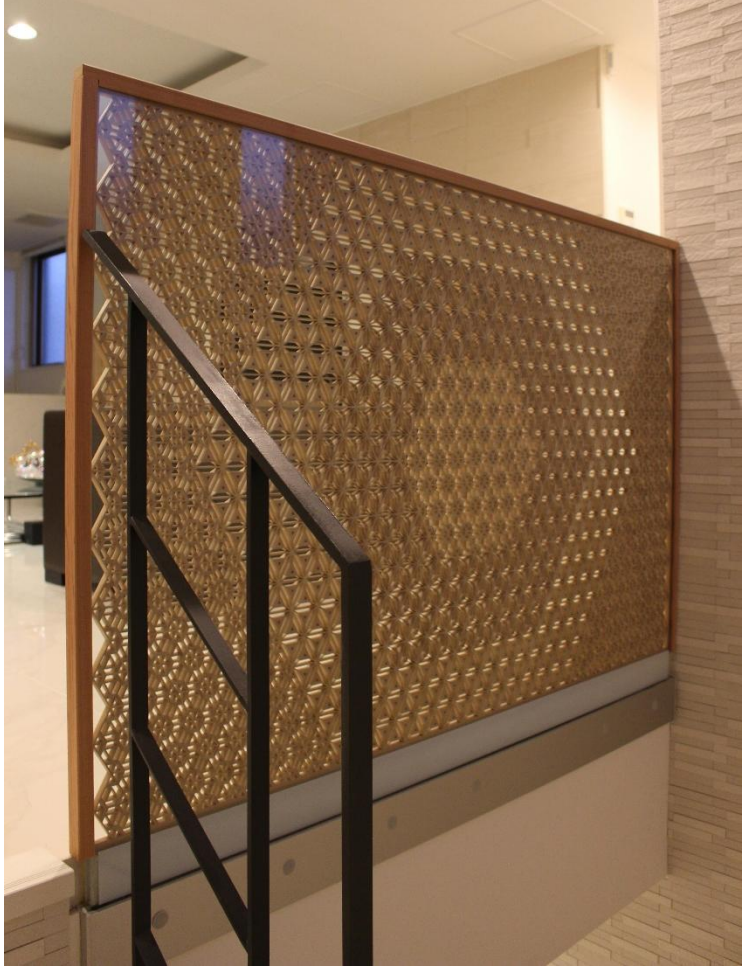
〈四枚屏風〉
中央に麻の葉の組子を入れた四枚屏風。
最近では、ベッドの横に枕屏風として使われる方も多い。

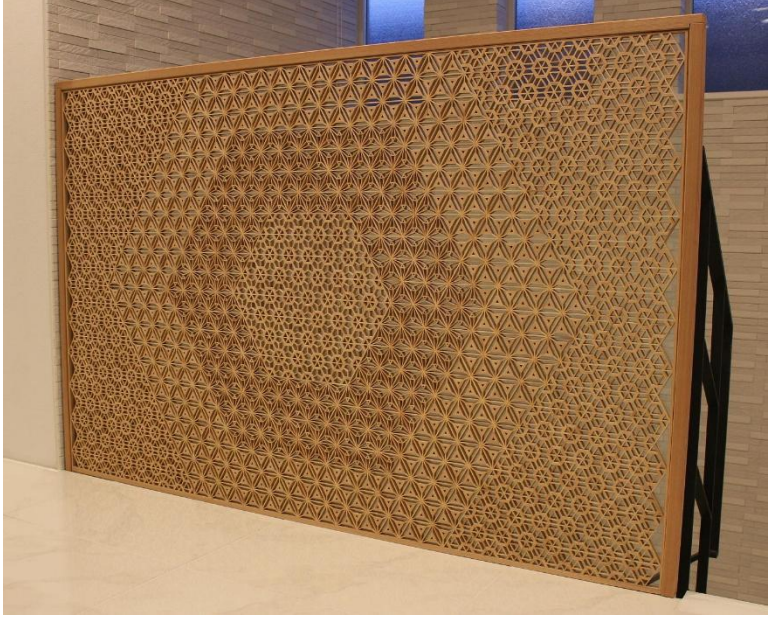


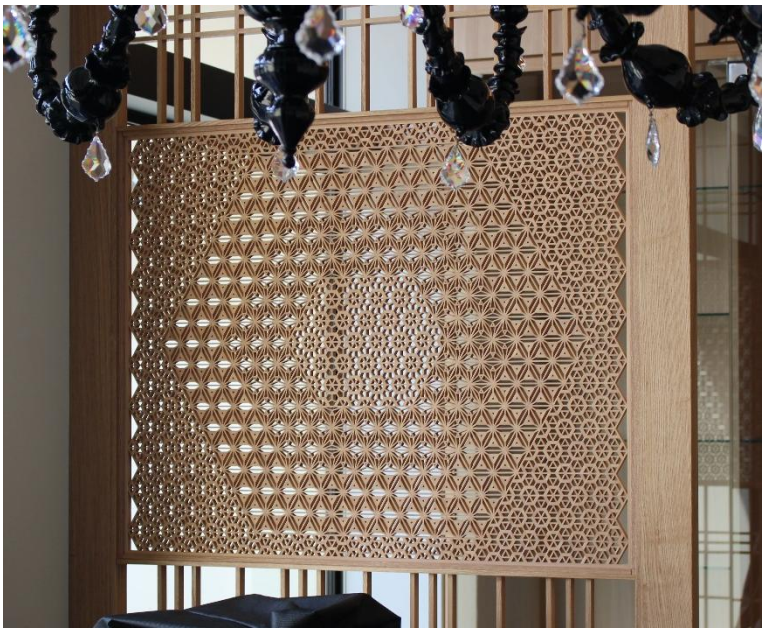
〈行燈・スピーカーカバー〉
石やガラス素材を使用したクールな印象のリビングに、部屋全体のすっきりとした基調を崩さず和のテイストを加え、温かみのある雰囲気に。



〈タペストリー〉
UAE・ドバイのお客様からのご注文。
メールでやり取りしながらデザインを決定。







〈パーテーション〉
模様は、中央から桜、麻ノ葉、桔梗、雪の結晶となっており、日本の四季を表している。

〈窓飾り〉
洋室の窓に組子をあしらった窓飾り。
採光を保ちながら目隠しにもなる。

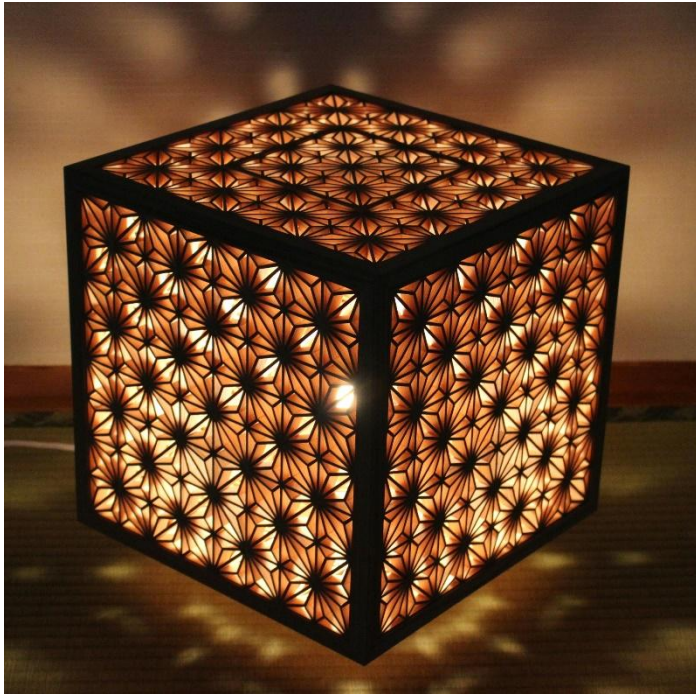




〈窓飾り〉
フランク・ロイド・ライトがデザインしたステンドガラスに組子の窓飾りを組み合わせて。

新たなものづくりへの挑戦
～伝統の技を活かして

伝統をより身近に感じて欲しいという気持ちから、屏風や行燈など、伝統を活かした新しい製品づくりに取り組んでいます。
様々な企業、デザイナー、クリエイターとの取り組みでは、既成概念に捉われない、組子の可能性を広げています。



〈行燈〉
約 2,500 ピースの部品を組んで作る麻の葉模様の行燈。
目黒雅叙園百段階暖で開催される「和のあかり展」出展作品。
竜宮城をイメージして製作した。



〈テーブル〉
中央部にテーブルセンターのように組子を
あしらったテーブル。
二本松工藝舘 田中家具株式会社とのコラボ商品。



〈パソコン本体（ディスプレイ用）〉
パソコンメーカーのデザイナーによるデザイン。
組子部分を小社で製作した和柄のパソコンは、
世界のゲームショウを渡り歩く。



〈コースター〉
世界のお茶専門店ルピシア自由が丘本店にて
コースター製作体験のワークショップを開催。

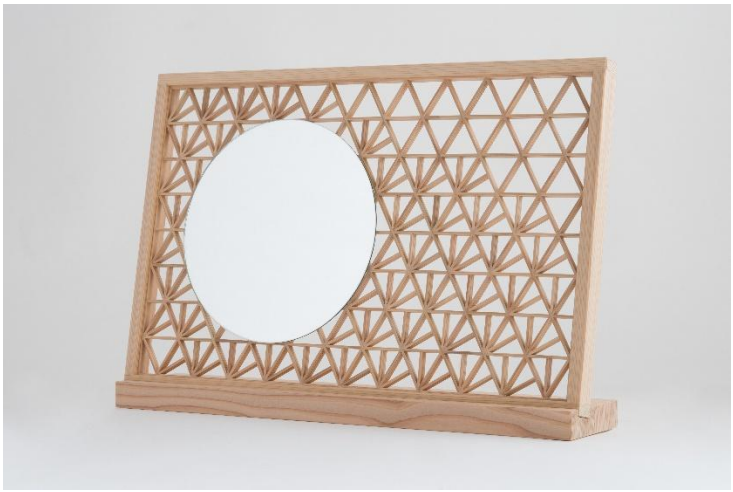


〈ブラシ〉
実用性とデザイン性に優れたブラシ。
「東京手仕事」プロジェクト　2018 年度採択支援商品。
宇野刷毛ブラシ製作所とのコラボ商品。

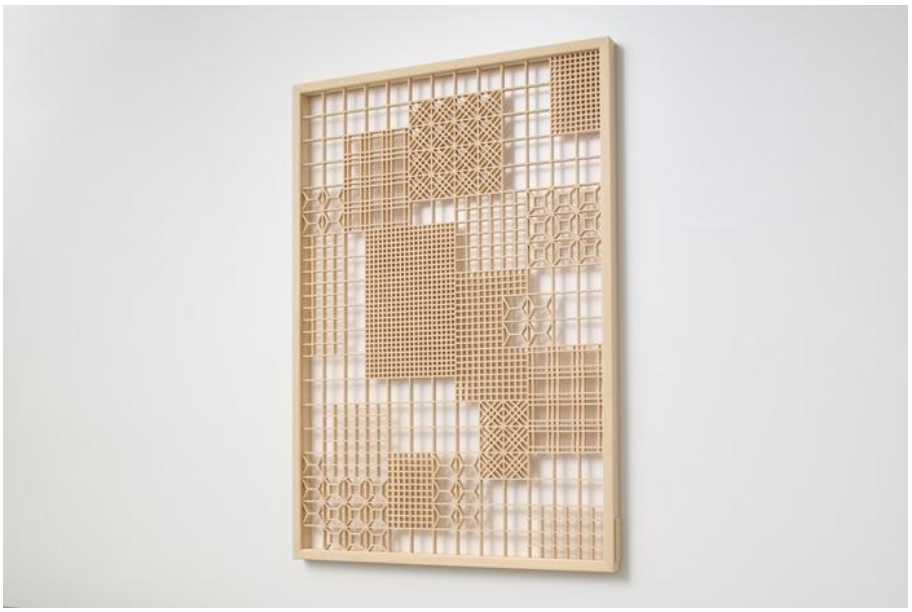
令和 3 年度「江戸東京きらりプロジェクト」（東京都）のモデル事業者に選定され、国内外に江戸東京の魅力を発信していく様々な活動に参加させていただいております。

東京都・パリ市の連携事業として、江戸東京きらりプロジェクトモデル事業者とパリ市のデザイナーによる「新商品の共同制作」が実施されました。
制作された商品は、フランス国際見本市「メゾン・エ・オブジェ 2024」「メゾン・エ・オブジェ 2025」に出展されました。





〈建松×Index Office〉
フランス人デザイナー（ネルソン・フォッシー氏）による装飾鏡シリーズ。メゾン・エ・オブジェ 2024、2025 出展。



〈建松×Döppel〉
フランス人デザイナー（ジョナタン・オマル氏＆リヨネール・ディニス＝サラザール氏）によるレイヤーランプコレクションと装飾パネル。メゾン・エ・オブジェ 2025 出展。



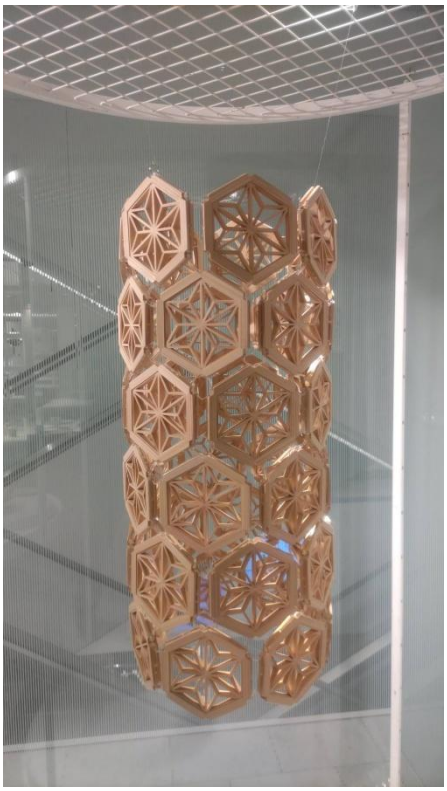


CELL
FLEXIBLE UNIT KUMIKO

江戸東京きらりプロジェクトの一環として、"粋"をさまざま視点から探求し、"粋"の宿る伝統的な木工技術「組子」を通じて「真の豊かさとは何か」を問うクリエイター「MAI SUZKI」とのコラボレーションブランド「CELL」を立ち上げました。

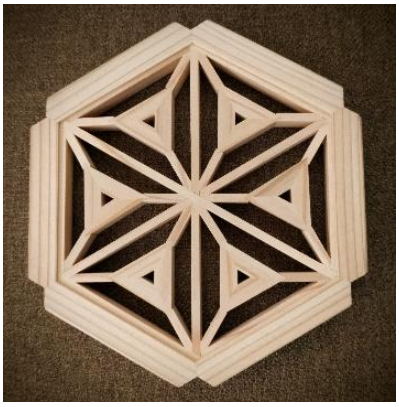
【登録商標第 6887084 号】



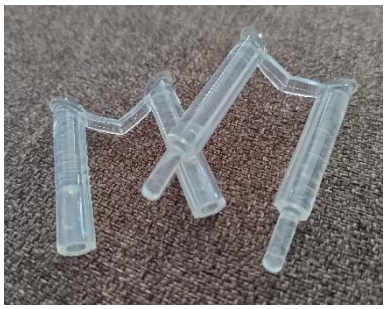


〈建松×MAI SUZUKI〉
日本の伝統的な木工技術「組子細工」。釘をいっさい使わずに、小さな木片を手作業で組み合わせ、様々な模様を作り上げていきます。
「CELL」は、この技術を、「組む」ことによって新たな存在を織りなす技術と新たに解釈し、可能性を拡張するブランドです。
従来、建具の障子や欄間に活用をされることが主であった組子の最小ユニットの六角形に着目しました。
六角形のユニットに柔軟性のあるジョイントを「組む」ことによって、2 次元でも 3 次元でも変幻自在な形を作り出すことができます。
日本古来から培われてきた伝統的な技術のユニークさと、それを実現させる究極の職人技、そしてユーザーの発想が組み合わさり、クリエイティビティの化学反応を起こすことで、想像を超えた未知なる可能性を切り拓くことを目指します。









六角形の組子ユニットを
M 型ジョイントを使ってつなげる。

吊るして使用する場合は、
I 型ジョイントを使用する。



社会貢献
～伝統の技と美、職人の心意気を伝える

地域の小中学校や図書館等で、伝統工芸 組子細工の魅力を伝える講演会や展示、見学の受け入れ等を行っています。
また、大学生が卒論作成のために見学や相談にいらしたり、日本の木工技術や日本文化に興味のある外国人の方が作業場を訪ねてこられます。
世代や国境を越え広く、伝統の技とそれから生み出される美しさ、そして職人の心意気を伝えていきたいと考えています。









江戸組子　建松

えどくみこ　たてまつ

〈所在地〉東京都江戸川区南篠崎町２－２０－８
〈連絡先電話〉０３－３６７８－３９１６
〈代表者〉田中 孝弘
〈登録番号〉T2810745934318

１９８２年 「建松」設立
１９８６年　江戸川区伝統工芸会入会
２００６年　江戸川区指定無形文化財認定（田中松夫）
２０１９年　東京都優秀技能者（東京マイスター）認定（田中松夫）
２０２２年　江戸東京きらりプロジェクトモデル事業者採択
２０２３年　江戸東京ブランド協会入会
２０２６年　東京都優秀技能者（東京マイスター）認定（田中孝弘）

《工芸者》

田中 松夫　たなか まつお

１９４３年　新潟県生まれ
１９５８年　学校卒業後上京、建具屋に弟子入り
１９８２年　独立「建松」設立
１９８６年　江戸川区伝統工芸会入会
１９８９年　江戸川伝統工芸展　区長賞受賞
１９９１年　江戸川伝統工芸展　教育委員会賞受賞
１９９６年　江戸川伝統工芸展　教育委員会賞受賞
２００６年　江戸川区指定無形文化財認定
２００９年　江戸川伝統工芸展　教育委員会賞受賞
２０１９年　東京都優秀技能者（東京マイスター）認定
２０２０年　江戸川区文化功績賞受賞
２０２６年　死去

田中 孝弘　たなか たかひろ

１９７２年　東京都生まれ
１９９４年　東海大学工学部建築学科卒業
１９９４年　都市計画コンサルタント会社に就職
１９９８年　一級建築士取得
１９９８年　家業を継ぐため退職
　　父・田中松夫のもとで修行
１９９９年　江戸川区伝統工芸会入会
２００７年　江戸川伝統工芸展　技能賞受賞
２００８年　江戸川伝統工芸展　教育委員会賞受賞
２０１５年　江戸川伝統工芸展　教育委員会賞受賞
２０１９年　江戸川伝統工芸展　区長賞受賞
２０２３年　江戸川伝統工芸展　技能賞受賞
２０２５年　江戸川伝統工芸展　教育委員会賞受賞
２０２６年　東京都優秀技能者（東京マイスター）認定

《主な取引先》（五十音順）

江戸川区、株式会社オープン・ザ・フィールド、株式会社千成堂、髙島屋、東京都、三越伊勢丹

《所属団体》

江戸東京ブランド協会会員、江戸川区伝統工芸会会員

《メディア情報》

～新聞・雑誌・書籍～

１９９０年「下町の名工たち」ぎょうせい
１９９６年「経済往来」経済往来社
１９９６年「京都江戸職人のわざ」毎日新聞社
１９９７年「手づくり木工事典」婦人生活社
１９９８年「出逢いの哲学」世界文化社
１９９８年「男の隠れ家」造形社
１９９８年「メンズ・エクストラ」世界文化社
１９９９年「匠の姿」二玄社
２００２年「東京の職人」淡交社
２００４年2月 読売新聞 江東版
２００４年6月 しんぶん赤旗
２００５年「ザ・ネイバー」千広企画
２００８年「パトス」ポリッシュ・ワーク
２００９年「ひととき」ウェッジ
２００９年「生涯学習」生涯学習開発財団
２００９年「世界にはばたく日本力～日本の技術～」ほるぷ出版
２０１０年「江戸川区の文化財」江戸川区教育委員会
２０１０年「大人からの情報発信」日々発見の会
２０１４年「男の一生モノ図鑑」ネコ・パブリッシング
２０１５年「OZ マガジン江戸川」スターツ出版
２０１７年8月 読売新聞
２０１９年「LUPICIA ルピシアだより」3月号
２０１９年 ANA グループ機内誌「翼の王国」 6月号
２０２２年「婦人画報」 8月号 ハースト婦人画報社
２０２３年4月 日刊木材新聞
２０２３年 三菱 UFJ モルガンスタンレー証券会員誌「Fortuna」秋号
２０２３年「婦人画報」11 月号 ハースト婦人画報社
２０２５年「婦人画報」 1月号 ハースト婦人画報社
２０２６年「婦人画報」 1月号 ハースト婦人画報社
２０２６年「東京三昧カレンダー」春号 東京商工会議所
２０２６年「江戸楽」11 月号 エー・アール・ティ株式会社

～テレビ・ラジオ出演～

２００４年 10 月「ぶらり途中下車の旅」日本テレビ
２００６年　２月「お江戸粋いき」TBS テレビ
２００８年　４月「ちい散歩」テレビ朝日
２００８年　５月「東京サイトとうきょう歴史散歩」テレビ朝日
２００８年　６月「木片の細密 組子工芸」中部日本放送
２０１１年 12 月「ちい散歩」テレビ朝日
２０１３年　２月「えどコレマイスター」FM えどがわ
２０１４年　４月「和風総本家」テレビ大阪
２０１５年　８月「あさチャン！」TBS テレビ
２０１６年　５月「こころふれあい紀行～音と匠の旅」BS-TBS
２０１６年　７月「DESIGN TALKS PLUS」NHK WORLD
２０１７年　７月「昼めし旅」テレビ東京
２０１８年　７月「出没！アド街ック天国」テレビ東京
２０２０年　３月「東京サイト組子細工の匠」テレビ朝日
２０２２年 12 月「名品モノづくり探訪」ＢＳジャパネクスト
２０２３年　３月「じゅん散歩」テレビ朝日
２０２３年　７月「ぐるり東京江戸散歩」TOKYO MX TV
２０２３年　８月「江戸川元気！パラダイス」 JCOM チャンネル
２０２３年 10 月「東京交差点」テレビ東京
２０２４年　１月「JAPANOLOGY Plus 林業」NHK
２０２５年 11 月「東京空色さんぽ」TBS テレビ
２０２６年　３月「TOKYO EVERYONE」テレビ朝日
２０２６年　８月「虫めがね」TBS テレビ
２０２６年　５月「新 美の巨人たち」テレビ東京

～海外メディア～

２０１６年 11 月「le BOUVET」（フランス）
２０２１年 11 月「STORIED」VOLUME3（アメリカ）
２０２２年 ９月「INFINITE」AUTUMN（台湾）
２０２２年 11 月「MONOCLE」（イギリス）
２０２２年 11 月日産「ARIYA」ＰＶ動画出演（日産スペイン/La vanguardia）
２０２４年 10 月「the Japan times」（アメリカ）

《講演会・ワークショップ》

２０１４年　２月 江戸川区立鎌田小学校
２０１８年 10 月 江戸川区立東部図書館
２０１８年 12 月 足立区生涯学習センター
２０１９年　２月 ルピシア自由が丘本店
２０２０年　２月 江戸川区立中学校教育研究会美術部
２０２０年 11 月 江戸川区立瑞江第三中学校
２０２１年 10 月 江戸川区立清新ふたば小学校
２０２４年　３月 江戸東京リシンク展
２０２４年　３月 アリオ葛西
２０２４年　６月 AMAZING EDO TOKYO～未来に伝えていきたい東京の宝～
２０２４年 11 月 TOKYO 周穫祭 2024
２０２５年　１月 Connections Luxury Tokyo 2025
２０２５年　３月 EDO TOKYO TIMELESS 展
２０２５年　３月 ワールド・ウッドデイ 2025 国際青少年木工交流キャンプ
２０２５年　７月 江戸川区伝統工芸会勉強会
２０２５年 10 月 Connections Luxury APAC 2025
２０２５年 10 月 老舗フェスティバル 2025
２０２６年　２月 江戸川区立鹿骨東小学校
２０２６年　３月 技きらり 何が生まれる？展
２０２６年　５月 江戸川区立小松川図書館
２０２６年　５月 中外製薬社内カフェ「KOM」（社内交流イベント）
２０２６年　７月 三井不動産社内カフェ（社内交流イベント）





◆お問い合わせ先◆

江戸組子 建松（えどくみこ たてまつ）

〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町 2-20-8

TEL/FAX:03-3678-3916

E-mail: edokumiko-tatematsu@jcom.home.ne.jp

〈ホームページ〉http://www.paw.hi-ho.ne.jp/kumiko-tatematsu/

～催事のお知らせ・最新の納品事例はこちらから～

〈フェイスブック〉https://www.facebook.com/edokumiko.tatematsu

〈インスタグラム〉https://www.instagram.com/edokumikotatematsu